



家庭ごみ有料化の平成 27 年 4 月実施をやめ、
市民参加で見直すことを求める請願書

紹介議員

坂田 佳資 ●

上原 (のぶ) ●

竹内 ちづみ ●



平成 26 年 11 月 25 日

生駒市議会議員 中谷尚敬 殿

請願者

家庭ごみ有料化の平成 27 年 4 月実施をやめ、
市民参加で見直すことを求める請願書

1 要旨

生駒市として家庭ごみ有料化の 4 月実施をやめ、市民参加で見直すこと。

2 理由

本年 3 月、生駒市議会において、家庭ごみの有料化が議決され、来年 4 月 1 日から実施されることになりました。

しかし、くらしに響く家庭ごみ有料化には、次のような問題があります。

1. 有料化の具体案が発表されたのが「広報いこま」2 月 15 日号であり、市民の意見集約が極めて不十分なまま議会にはかされた。議会でも、広く市民の意見集約と十分な議論を行うことなく可決した。このことは、市民参加という点からも、減量化は広範な市民の取組みによってこそ可能であることから、重大な問題がある。
2. 生駒市はごみ有料化はごみ減量のため必要と言うが、ピーク時の平成 12 年度と比べ、1 人あたりの家庭ごみは 25% も減っている上、資源化対策を進めれば更に減ることも予想され、有料化する必要性に疑義があり、重大な問題がある。
3. 低所得者や、紙おむつなどに対する配慮がない、少量でも負担が生じるなど市民負担が重い制度であるとともに、不法投棄の増加、税金の二重取りなどの重大な問題がある。

以上から、このまま実施する事は問題があり、効果的なごみ減量化の推進と、市民のくらしを守る点から、家庭ごみ有料化の 4 月実施をやめ、市民参加で見直す必要があると考えます。